

①省力化投資補助金(一般型) (公募中)

人手不足解消に繋がる設備導入が対象です
 公募現在：8回公募 10月中旬締切(予定)
 申請準備：8回公募の相談受付中
 助成目安：500～3000万
 対象経費：機械設備、システム開発
 採択率予測：60%

②新事業進出・ものづくり商業サービス補助金 (公募中)

新しい取り組みに必要な設備導入が対象です
 公募現在：1回公募 10月30日締切
 申請準備：1回公募の相談受付中
 助成目安：750～2500万
 対象経費：機械設備、建物、システム
 採択率予測：35%

③小規模事業者持続化補助金 (公募待ち)

零細企業の設備投資や販促費が対象です
 公募現在：20回公募 12月15日締切
 申請準備：20回公募の相談受付中
 助成目安：50～250万
 対象経費：内装、設備、広告、Web関連など
 採択率予測：50%

④デジタル化・AI導入補助金 (公募中)

業務に使うインターネットサービスが対象です
 公募現在：5次公募 9月29日締切
 申請準備：5次公募の相談受付中
 助成目安：50～450万
 対象経費：ソフトウェア、保守料など
 採択率予測：50%

⑤中小企業成長加速化補助金 (公募中)

100億企業を目指す大型投資が対象です
 公募現在：3次公募 10月29日締切
 申請準備：3次公募の相談受付中
 助成目安：5000～5億円以下
 対象経費：機械設備、建物、ソフトウェア
 採択率予測：25%

⑥エイジフレンドリー補助金 (公募中)

高齢者の重い・つらいを解消する設備が対象です
 公募現在：10月31日締切
 申請準備：相談受付中
 助成目安：50～100万
 対象経費：高齢従業員の業務サポート設備
 採択率予測：労働法遵守で100%

⑦人材開発支援助成金 (公募中)

従業員のスキルアップに繋がる研修が対象です
 公募現在：随時公募中
 申請準備：相談受付中
 助成目安：10～30万(1名)
 助成対象：雇用保険の被保険者
 採択率予測：労働法遵守で100%

⑧キャリアアップ助成金 (公募中)

契約社員、アルバイトの正社員転換に使えます
 公募現在：随時公募中
 申請準備：相談受付中
 助成目安：40～80万(1名)
 助成対象：お試し有期→正社員
 採択率予測：労働法遵守で100%

⑨両立支援等助成金 (公募中)

育休、介護休を希望するスタッフの在籍が条件です
 公募現在：随時公募中
 申請準備：相談受付中
 助成目安：50～200万
 助成対象：休暇取得予定の社員
 採択率予測：労働法遵守で100%

⑩業務改善助成金 (公募中)

業務の効率化に繋がる設備投資が対象です
 公募現在：公募中
 申請準備：最短9月30日終了(都道府県により異なる)
 助成目安：100～450万
 助成対象：機械、設備、システムなど
 採択率予測：労働法遵守で100%

活用レポート



代表取締役 的場

2027年4月から、食料品の消費税率が2年間の時限措置として1%に引き下げられる方針が表明されています。実施されれば、飲食料品を扱うすべての事業者でレジの税率変更対応が必要になります。しかも時限措置のため、税率を戻す2年後にも再度の対応が発生します。旧来のレジ(ガチャレジ・メカレジ)は改修や買い替えが必要になるケースが多く、2回分の費用と手間は決して小さくありません。この対応策として国が普及を後押ししているのがスマートレジです。タブレットやスマートフォンをレジ端末として使うモバイルPOSレジなどの総称で、税率変更にはソフトウェアの設定・更新だけで対応でき、売上・在庫・顧客情報の一元管理や会計ソフト連携による経理の効率化も期待できます。経済産業省は2026年6月、デジタル化・AI導入補助金のインボイス枠(インボイス対応類型)でスマートレジ導入の申請を優先採択(加点強化)すると発表し、8月末には公式サイトに特設ページも公開されました。補助内容は手厚く、小規模事業者は最大4/5補助・補助額350万円まで(下限なし)。ソフトだけでなくレジ本体やタブレットなどハードウェアも対象です。もともとインボイス枠は採択率が高め(直近55%程度)で、優先採択も加わるため、今の補助金の中ではかなり通りやすい申請といえます。直近の締切は9月29日、その次は10月30日。減税スタートの2027年4月から逆算すると、今年のうちの導入検討がおすすめです。

